SELCO

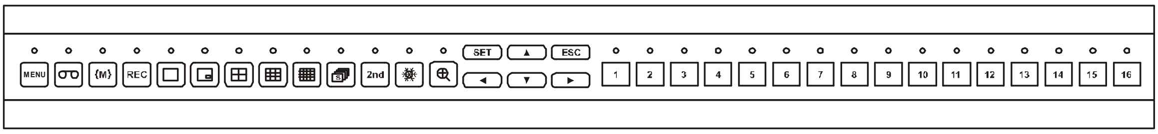
マルチプレクサー 9CH

SXC-9LT

マルチプレクサー 16CH

SXC-16LT

# 取扱説明書



## 安全のために

■　施工・ご使用前に必ずこのご注意をお読みください。
■　ここに示した注意事項は、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ずお守りください。
■　この説明書は、施工後に施主様に必ずお渡しください。

| 安全のご注意 | |
|---|---|
| ■　施工・ご使用前に必ずこの説明書をお読みください。<br>■　ここに示した中事項は、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ずお守りください。 | |
| ⚠警告 | 人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。 |
| ⚠注意 | 人が障害を負う、または、物的損害の発生が考えられる内容。 |

| 施工上のご注意 |
|---|
| ●　マルチプレクサーは平坦かつ堅牢な安定した場所に設置してください。<br>～不安定な場所に設置すると、製品の落下等で怪我の原因になります。～<br>～製品の落下で周辺の家具や床面が損傷する原因になります。～<br>～製品の落下で製品が損傷する原因になります。～<br>●　ケーブルは重量物の下敷きにしたり、無理な力を加えないでください。<br>～電線の切断などで、映像が送れなくなる原因になります。～ |

| ⚠警告 | |
|---|---|
| 禁止 | ●　マルチプレクサーは平坦かつ堅牢な安定した場所に設置してください。<br>～不安定な場所に設置すると、製品の落下等で怪我の原因になります。～<br>～製品の落下で周辺の家具や床面が損傷する原因になります。～<br>～製品の落下で製品が損傷する原因になります。～取り付け場所は平坦、かつ。堅牢な安定した場所に設置する。 |
| | ●絶対に分解、修理、改造は行わない。<br>～火災や感電の原因となります。～<br>修理は販売店にご相談ください。 |
| | ●湿気の多い場所、ほこりの多い場所には設置しない。<br>～内部に湿気やほこりが入ると、火災や感電の原因となります。～<br>内部に水が入ったときは電源を切り、販売店にご相談ください。 |
| | ●電源コードを傷つけ、無理な曲げ、ねじり、重いものを乗せる、挟み込む、固定等をしない。<br>～絶縁性が低下し、火災や感電・やけどの原因となります。～<br>電源コードに傷がついたときは電源を切り、販売店にご相談ください。 |
| | ●熱器具に近づけたり、加熱したりしない。<br>～発火、故障の原因となります。～ |
| | ●ぬれた手で電源プラグの抜き差しはしない。<br>～感電や怪我をすることがあります～ |
| | ●コンセントや配線器具の定格を越える使い方をしない。<br>～定格を超えると、発熱による火災の原因となります。～ |
| | ●雷が鳴り出したら、電源プラグには絶対に触らない。<br>～感電の原因となります。～ |
| 必ず守る | ●故障（映像不良等）や煙が出ている、異臭がしたら電源プラグを抜く。<br>～放置すると火災や感電の原因となります。～<br>煙が出なくなったのを確認して、修理を販売店にご依頼ください。 |
| | ●取付工事は販売店に依頼する。<br>取付工事は技術と経験が必要です。<br>～取付工事に不備があると、火災、感電、誤動作などの原因となります。～ |
| | ●お手入れ・点検の際は、電源プラグを抜く。<br>～感電や怪我をすることがあります。～ |
| | ●電源プラグは根元まで確実に差し込む。<br>～差込が不完全な場合、感電・発熱による火災の原因となります。～<br>痛んだプラグ・ゆるんだプラグコンセントは使わないでください。 |
| | ●電源プラグのほこりは定期的にふき取る。<br>～短絡して、火災の原因になります。 |

# 安全のために

| ⚠注意 | |
|---|---|
| 禁止 | ●　マルチプレクサー本体を熱のこもる場所に設置しない。<br>～熱がこもり、火災やケースなどの変形の原因となります。～ |
| | ●　マルチプレクサー本体を布等で覆わないでください。<br>～熱がこもり、火災やケースなどの変形の原因となります。～ |
| | ●　振動や強い衝撃を与えないでください。<br>～内部部品の変形などで、故障または火災の原因となります。 |
| | ●　通風口やスロットなどをふさがない。<br>～内部温度などの障害になります。～ |
| | ●　金属部品などをスロットから入れない。<br>～本体が破損したり、故障、感電の原因になります。～<br>もし入った場合はすぐに電源を切り、専門のサービスマンにお問合せください。 |
| | ●　カバーを取り外さない。<br>～感電の危険があります。～ |
| 必ず守る | ●　電源コードを抜くときは必ずプラグを持って抜く。<br>～コードを持って抜くと、ショートして火災や感電の原因となります。～ |
| | ●　長期間使用しないときは、必ずプラグを電源から抜く。<br>～湿気・ほこり等で絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。～ |

| ご使用上の注意 |
|---|
| ●　マルチプレクサーに衝撃を与えないでください。<br>～外郭ケースの割れ、および、怪我の原因になります。～ |

| 本体のお手入れ |
|---|
| 1. 汚れが目立つようになった時のお手入れには、次のことにご注意ください。<br>・雑巾でふき取る場合は、水で薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸し、水滴が落ちなくなるまで固く絞ってから汚れをふき取り、乾いた布で乾拭きしてください。（噴霧式の洗剤は使用禁止）<br>・アルコール・シンナー・ベンジン等は使わないでください。<br>変質したり、塗装が剥げる原因になります。<br>・化学雑巾を使用される場合は、使用される化学雑巾の注意事項を確認してください。<br>変質したり、塗装が剥げる原因になります。<br>＊普段のお掃除の場合は、乾燥した柔らかい布でふき取ってください。<br>2. 殺虫剤等の揮発性のものを吹きかけないでください。<br>変質したり、塗装が剥げる原因になります。<br>3. ゴム・ビニール製品に長時間接触させないでください。<br>変質したり、塗装が剥げる原因になります。 |

# 目次

本取扱説明書は、9CH マルチプレクサー(SXC-9LT)、16CH マルチプレクサー(SXC-16LT)共有のものです。
但し、図・説明等は、16CH マルチプレクサー(SXC-16LT)をもとに作成しております。
9CH、16CH で機能が異なるものにおいては、その旨の説明を挿入しております。
ご了承願います。


**安全のために** ........ II

**設置・接続方法について** ........ 5

1. システム概要 ........ 5
2. カメラとの接続 ........ 6
3. モニターとの接続 ........ 6
4. 録画装置との接続 ........ 6
5. DAISY-CHAINING EQUIPMENT(デイジーチェイン接続機能) ........ 7
6. トップメニュー、ボトムメニューの操作方法 ........ 7
   トップメニュー ........ 7
   ボトムメニュー ........ 7

**設定([SETUP MENU])** ........ 8

*1. Time Date Setup(日付・時刻設定)* ........ 9
*2. Camera Title Setup(カメラタイトル設定)* ........ 10
*3. Camera Sequence Setup(シーケンシャル設定)* ........ 11
*4. Alarm Setup(アラーム設定)* ........ 12
*5. Alarm History List(アラーム履歴)* ........ 18
*6. Motion Detection Setup(モーションディテクター設定)* ........ 19
*7. VCR System Setup(録画設定)* ........ 22
*8. Camera Picture Adjustment(カメラ映像調整)* ........ 24
*9. Macro Setup(マクロ設定)* ........ 24
*10. Unit Setup(ユニット設定)* ........ 27
*11. Password Setup(パスワード設定)* ........ 28

**操作説明** ........ 29

FRONT PANEL BUTTONS(ボタンと機能説明) ........ 29
POP-UP MENU(ポップアップメニュー) ........ 31
*1. LIVE CAMERA CHANGE(ライブカメラ切替)* ........ 31
*2. VCR CAMERA CHANGE(再生カメラ映像切替え)* ........ 32
*3. ZOOM(ズーム)* ........ 32
*4. FULL(フル画面表示)* ........ 32
*5. PANIC RECORD(パニック録画)* ........ 32
*6. FREEZE(フリーズ機能)* ........ 32
*7. SEQUENCE(シーケンシャル)* ........ 33
*8. UTILIRIES(オプション)* ........ 33

**付録 A – 故障かな、と思ったら** ........ 36

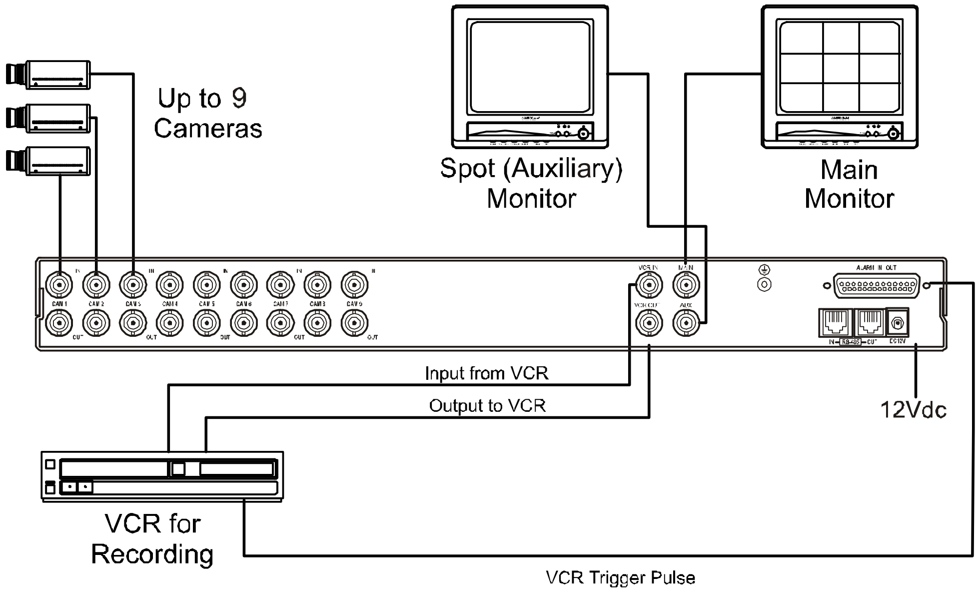
**付録 B— リモートコントロールとコネクター接続** ........ 37

**付録 D- 仕様** ........ 44

**保証とアフターサービス** ........ 45

# 設置・接続方法について

## 1. システム概要



## 2. カメラとの接続

このマルチプレクサーには 16 台(16CH)、9 台(9CH)までのカメラを接続できます。
カメラ接続 IN (上段)BNC コネクターに映像入力線を接続してください。ループスルーは自動終端(75Ω)となっております。ループスルーアウトを使用しない場合でも、終端抵抗を接続する必要はありません。

**ご注意**

***ループスルーに接続された BNC ケーブルは必ず他の終端抵抗を持った映像機器に接続してください。***

## 3. モニターとの接続

MAIN(メイン出力)

本体背面の MAIN(メイン出力)とモニターを接続します。

AUX(スポット出力)

MAIN(メイン出力)以外のスポット出力として、モニターに接続します。記録映像の再生中などにライブ映像の確認等が可能です。

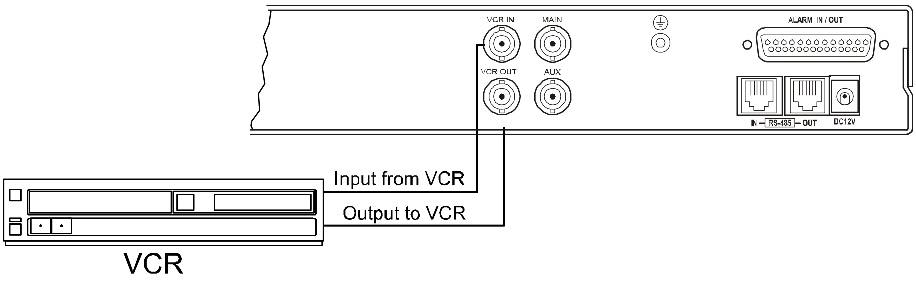
## 4. 録画装置との接続

VCR IN　VCR OUT

録画装置(タイムラプスビデオ、1CH デジタルレコーダー、など)との接続は、本体背面の VCR IN と録画装置の VCR OUT (映像出力)、本体背面の VCR OUT と録画装置の VCR IN (映像入力)を接続します。

**ご注意**

***録画装置との接続には設定が必要になります。「録画設定」を参照ください。***



# 5. DAISY-CHAINING EQUIPMENT(デイジーチェイン接続機能)

このマルチプレクサーは、デイジーチェイン接続が可能です。

# 6. トップメニュー、ボトムメニューの操作方法

このマルチプレクサーは、OSD(オンスクリーンディスプレイ)メニューにて、設定を行います。
フロントパネルからの操作、または外部制御機器からの操作が可能です。

## トップメニュー

| Live | Playback | Preview | Setup | Cancel |
|---|---|---|---|---|

**本体前面パネル ◄▲▼► (選択カーソル)の▲ボタンを 2 回押すと表示されます。**
[トップメニュー]からは、以下 5 つの操作が可能です。
**[Live(ライブ)]** ：[Live(ライブ)]を選択すると、最後に表示された画面に戻ります。
**[Playback(再生)]** ：[Playback(再生)]を選択すると、最後に表示された再生映像に戻ります。
**[Preview(プレビュー)]** ：[Preview(プレビュー)]を選択すると、録画された映像のプレビューを表示します。
**[Setup(設定)]** ：[Setup(設定)]を選択すると、各種設定が行えます。
*参考*
*パスワード機能が[ON]の場合、パスワード入力が求められます。*
**[Cancel(キャンセル)]** ：[トップメニュー]を終了します。

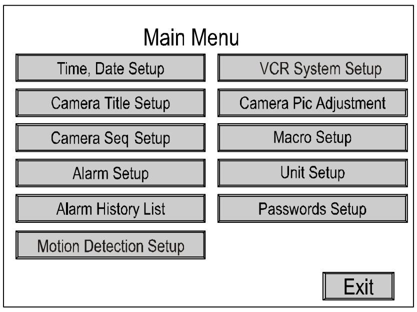
## ボトムメニュー

| Full | PIP | 2x2 | PIP 4 | 3x3 |
|---|---|---|---|---|

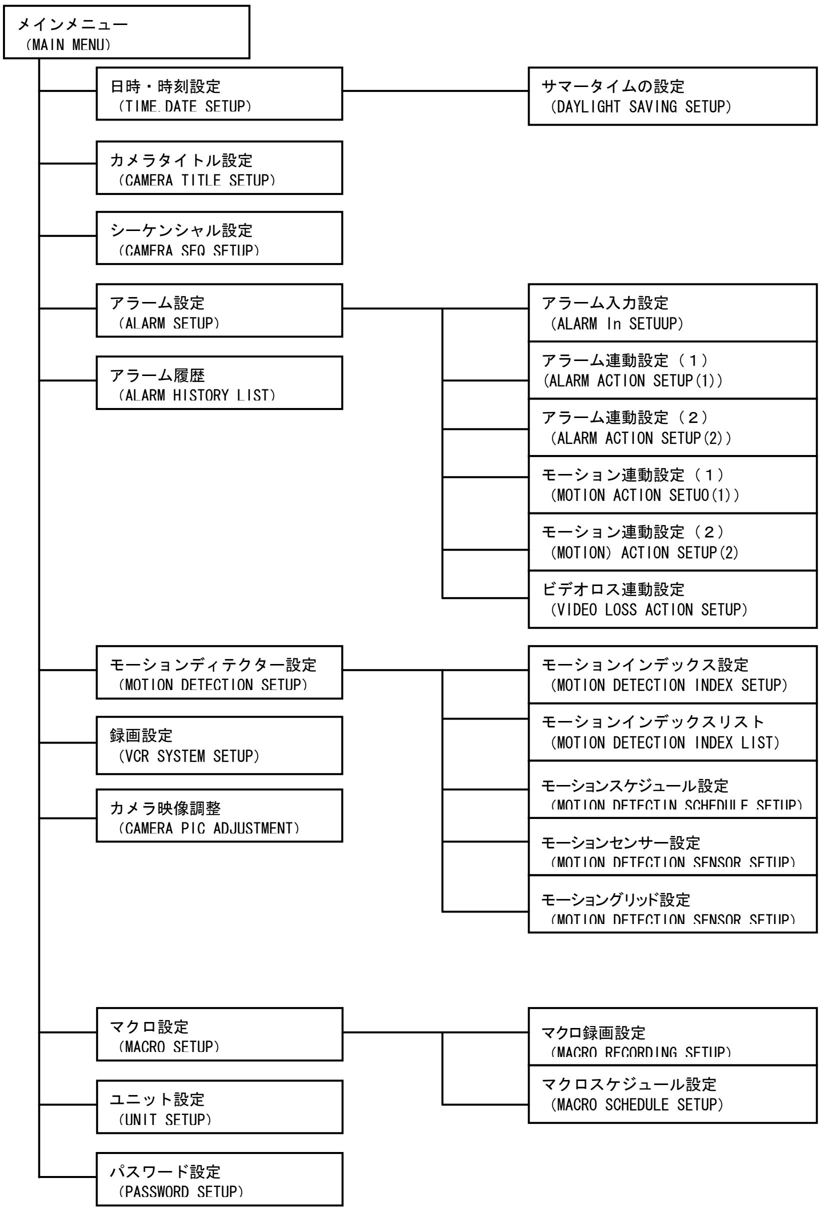
**本体前面パネル ◄▲▼► (選択カーソル)の▼ボタンを 2 回押すと表示されます。**
[ボトムメニュー]は、ライブ画面表示時のみ使用できます。
**[FULL(フル画面表示)]** ：1 つの任意のカメラ映像を[フル画面]表示に切替えます。
**[PIP(ピクチャー・イン・ピクチャー)]**
：[ピクチャー・イン・ピクチャー](PIP)画面に切替えます。
**[2x2(4 分割画面表示)]**
：[4 分割]表示画面に切替えます。
**[PIP 4(ピクチャー・イン・ピクチャー4 画面)]**
：[ピクチャー・イン・ピクチャー4 画面]表示に切替えます。
**[3x3(9 分割画面表示)]** ：[9 分割]表示画面に切替えます。

# 設定([SETUP MENU])

本体前面パネルの MENU ボタンを押すと、以下[Main Menu(メインメニュー)]画面が表示されます。
( または[トップメニュー] → [Setup(設定)]を選択すると、以下[Main Menu(メインメニュー)]画面が表示されます。)
カメラ、アラーム、再生、録画、パスワード等に関する各種設定を行います。

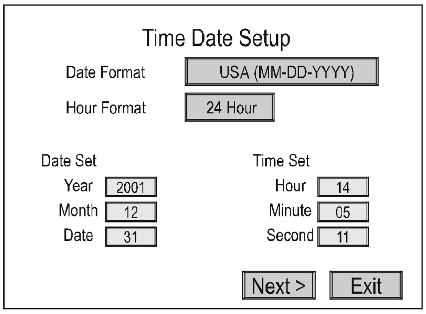



【メニューツリー】



# 1. Time Date Setup(日付・時刻設定)

日付・時刻設定を行います。
また、年月日のスタイル、時刻の 24 時間表示／[AM/PM]表示の設定を行います。




**日付スタイルの設定**

以下 3 つのスタイルから、年月日の表示スタイルを選択します。
(MM=月、DD=日、YYYY=年)

| | |
|---|---|
| USA | (MM-DD-YYYY) |
| EURO | (DD-MM-YYYY) |
| ASIA | (YYYY-MM-DD) |

**時間スタイルの設定**

[24 時間]スタイル、[AM/PM]スタイルから選択します。

**年月日の設定**

(方向キー)を操作し、Year(年)、Month(月)、Date(日)にカーソルをあわし、
SET で数値増加、ESC で数値減少させ、年月日の設定を行います。

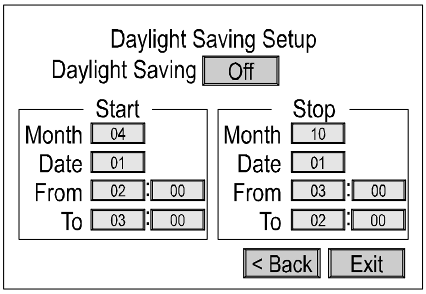
**時刻の設定**

(方向キー)を操作し、Hour(時)、Minute(分)、Second(秒)にカーソルをあわし、
SET で数値増加、ESC で数値減少させ、時刻の設定を行います。

**サマータイムの設定**

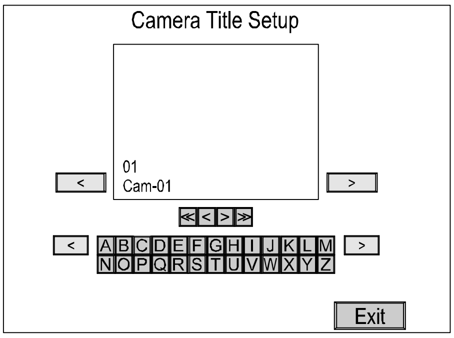
***ご注意*この機能は使用しません。***

NEXT > ボタンを選択し SET ボタンを押すと[Daylight Saving Setup]の設定画面に移動します。



## 2. Camera Title Setup(カメラタイトル設定)

[CAMERA TITLE SETUP(カメラタイトル設定)]を選択すると、以下画面が表示されます。
*入力文字数は、「24 文字(スペース含む)」まで入力可能です。
*日本語（漢字、ひらがな、カタカナ）入力はできません。




(方向キー)をカーソルを移動し、SET で決定します。

＜（上段）　　：カーソルを左に移動させます。
＞（上段）　　：カーソルを右に移動させます。

≪（中断）　　：カメラ 1 へ移動（最初のカメラへ移動）
＜（中断）　　：1 つ前のカメラへ移動
＞（中断）　　：1 つ後のカメラへ移動
≫（中断）　　：カメラ 16 へ移動（最後のカメラへ移動）(16CH の場合は 16、9CH の場合は 9、4CH の場合は 4 へ移動)

＜（下段）　　：入力文字テーブルを 1 つ前に移動させます。
＞（下段）　　：入力文字テーブルを 1 つ後に移動させます。

文字入力テーブル 1：A から Z（アルファベット大文字）
文字入力テーブル 2：a から z（アルファベット大文字）
文字入力テーブル 3：[空白]　！　“　＃　＄　％　＆　‘　（　）　＊　＋　－　．　／ 0 から 9
文字入力テーブル 4：　；　＜　＝　＞　？　［　＼　］＾＿　‘　｛　｜　｝　～
文字入力テーブル 5：使用しません
文字入力テーブル 6：使用しません

Exit　　　　：入力したデータを保存して、カメラタイトル設定を終了します。（メインメニューに戻ります）

## 3. Camera Sequence Setup(シーケンシャル設定)

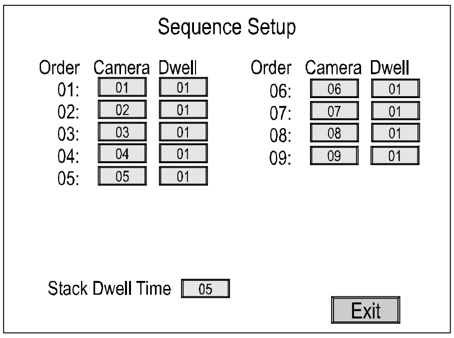
シーケンシャルモードでのカメラ表示、保持時間の設定を行います。

**ORDER** ：01～16（9CH の場合は 01～09、4CH の場合は 01～04）

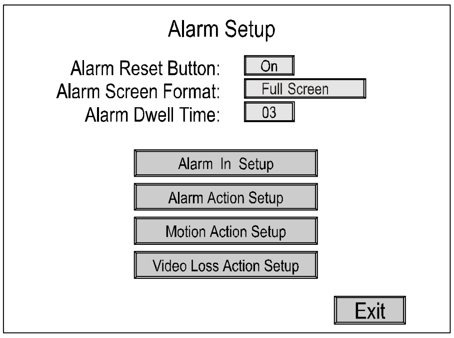
**CAMERA** ：ORDER の順序に従って表示したいカメラ番号を入力します。

**DWELL** ：カメラ映像の保持時間を入力します。（OFF、1～99 秒）

**STACK DWELL** ：カメラグループの映像の保持時間を入力します。



# 4. Alarm Setup(アラーム設定)




アラーム設定には、以下の 7 項目の設定があります。

**①[Alarm Reset Button(アラームリセットボタン)]**

On　　：アラーム発報の際に前面パネルボタンかポップアップメニューにてアラームを解除できます。

Off　　：アラーム解除するには、セットアップメニューにて解除することになります。

**②[Alarm Screen Format(アラーム画面設定)]**

アラーム発報時の画面連動変化を設定します。以下から選択します。
フル画面、4×4(16 分割)、変化なし

**③[Alarm Dwell Time(アラーム保持時間)]**

1～99 秒の間で設定できます。

**④[Alarm In Setup(アラーム入力設定)]**

アラーム接点設定にて詳細設定を行います。

**⑤[Alarm Action Setup(アラーム連動設定)]**

アラーム連動設定にて詳細設定を行います。

**⑥[Motion Action Setup(モーション連動設定)]**

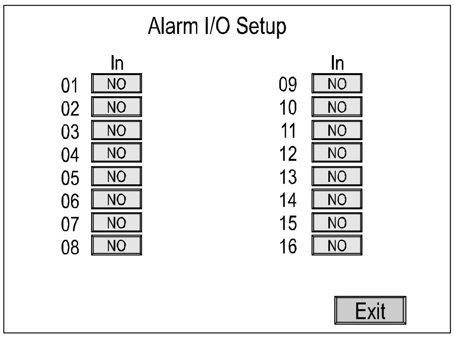
モーション連動設定にて詳細設定を行います。

**⑦[Video Loss Action Setup(ビデオロス連動設定)]**

ビデオロス連動設定にて詳細設定を行います。

Exit　：入力したデータを保存して、アラーム設定を終了します。(メインメニューに戻ります)

## ■[Alarm In Setup(アラーム入力設定)]



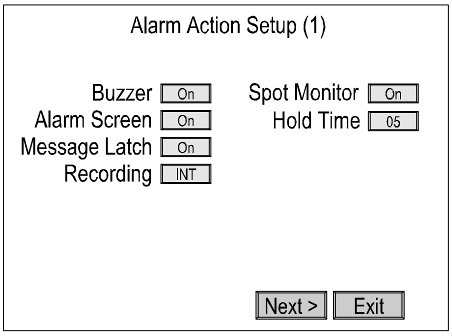

アラーム入出力の設定を行います。

**NO**　：ノーマリーオープン
**NC**　：ノーマリークローズ
**OFF**　：アラーム入力を使用しません。
**AR2**　：アラームをリセットして、4 分割画面に表示変更します。
**AR3**　：アラームをリセットして、9 分割画面に表示変更します。***(*注 1)***
**AR4**　：アラームをリセットして、16 分割画面に表示変更します。***(*注 1)***

***(*注 1)：この機能は、16CH マルチプレクサー(SXC-16)のみの機能です。***

Exit：入力したデータを保存して、アラーム設定を終了します。(アラーム設定に戻ります)

## ■[Alarm Action Setup(1)(アラーム連動設定(1))]




アラーム接点入力時のマルチプレクサーの動作設定を行います。

**[Buzzer(ブザー)]**

：On（アラーム発報状態の間ブザーがなります。）

：Off(アラーム発報状態でもブザーはなりません。)

**[Alarm Screen(アラーム画面)]**

：On(「アラーム画面設定」で設定された画面が表示されます。)

：Off(「アラーム画面設定」の画面に連動しません。)

**[Message Latch(メッセージマーク)]**

：On（画面上に[A]マークが表示されます。クリアにされるまで表示されます。）

：Off（[A]マークは表示されません。）

**[Recording(アラーム録画)]**

：INT(アラーム発報が合った場合、すべてのカメラの映像を録画します。)

：ONLY(アラーム発報が合ったカメラ映像のみ録画します。)

：UNC(アラーム発報があっても録画しません。)

**[Spot Monitor(スポットモニター出力)]**

：On（アラームを感知すると AUX 端子からカメラ映像がシーケンシャル表示されます）

：Off(アラームが感知しても AUX 端子からの映像出力は変化しません。)

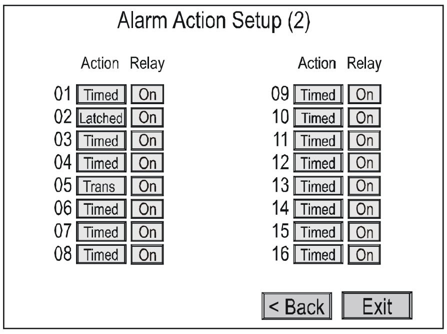
**[Hold Time(アラーム保持時間)]**

：設定された項目の動作保持時間を設定します。1～99 秒の間で設定します。

**Next＞**　：次のページ(アラーム連動設定(2))へ進みます。

**Exit**　：入力したデータを保存して、アラーム連動設定(1)を終了します。(アラーム設定に戻ります)

## ■[Alarm Action Setup(2)(アラーム連動設定(2))]




**[Action(アラーム連動)]**

:Timed（アラーム保持時間で設定した時間のみアラーム保持します）

:Latched（アラーム連動操作をとめるまで、保持します）

:Trans（外部操作からは、アラーム保持をとめられないようにします）

**[Relay(リレー)]**

:On（アラームと連動して、内部リレーを連動させます。）

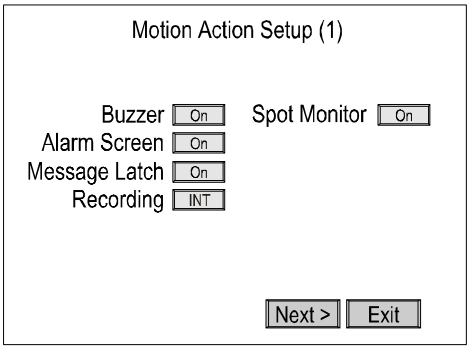
:Off（いずれの内部リレーも連動させません。）

**＜Back** ：アラーム連動設定(1)に戻る。

**Exit** ：入力したデータを保存して、アラーム連動設定(2)を終了します。(アラーム設定に戻ります）

## ■[Motion Action Setup(1)(モーション連動設定(1))]

***参照**：モーションディテクター設定*




モーションディテクターの設定を下記項目の設定により行います。

**[Buzzer(ブザー)]**

：On（モーションディテクターが感知している間、内部ブザーがなります。）

：Off（モーションディテクターが感知しても、ブザーはなりません。）

**[Alarm Screen(アラーム画面)]**

：On(「アラーム画面設定」で設定された画面が表示されます。)

：Off(「アラームアラーム」の画面に連動しません。)

**[Message Latch(メッセージマーク)]**

：On（画面上に[M]マークが表示されます。クリアにされるまで表示されます。）

：Off（[M]マークは表示されません。）

**[Recording(アラーム録画)]**

：INT(モーションディテクターが感知した場合、すべてのカメラの映像を録画します。)

：ONLY(モーションディテクターが感知したカメラ映像のみ録画します。)

：UNC(モーションディテクターが感知しても録画しません。)

**[Spot Monitor(スポットモニター出力)]**

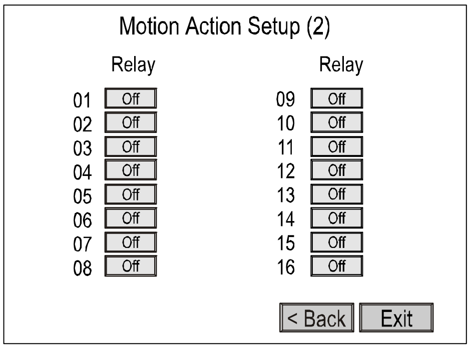
：On（ビデオロスを感知すると AUX 端子からカメラ映像がシーケンシャル表示されます）

：Off(モーションディテクターが感知しても AUX 端子からの映像出力は変化しません。)

**NEXT＞**　：次のページ(モーションディテクター連動設定(2))へ進みます。

**Exit**　：入力したデータを保存して、モーションディテクター連動設定(1)を終了します。（アラーム設定に戻ります）

## ■[Motion Action Setup(モーション連動設定(2))]




モーションディテクターが感知した際の連動設定を行います。

[Relay(リレー)]

:On（モーションディテクターと連動して、内部リレーを連動させます。）

:Off（モーションディテクターと連動して、内部リレーを連動させません。）

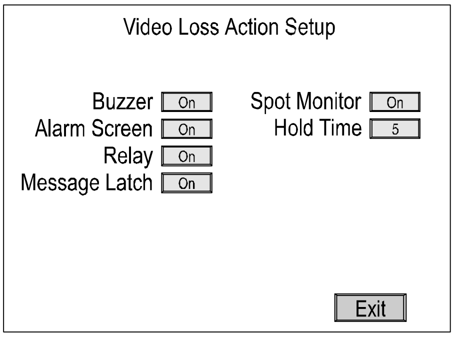
参考

*＊【アラーム連動設定】と【モーションディテクター連動設定】の設定が重なった場合は、【アラーム連動設定】が優先されます。*

<BACK：前のページ(モーションディテクター連動設定(1))に戻ります。

Exit　：入力したデータを保存して、モーションディテクター連動設定(2)を終了します。（アラーム設定に戻ります）

## ■[Video Loss Action Setup(ビデオロス連動設定)]




ビデオロスを感知した際の連動設定を行います。

**[Buzzer(ブザー)]**

：On（ビデオロスを感知している間、内部ブザーがなります。）

：Off（ビデオロスを感知しても、ブザーはなりません。）

**[Alarm Screen(アラーム画面)]**

：On(「アラーム画面設定」で設定された画面が表示されます。)

：Off(「アラーム画面設定」の画面に連動しません。)

**[Message Latch(メッセージマーク)]**

：On（画面上に[L]マークが表示されます。クリアにされるまで表示されます。）

：Off（[L]マークは表示されません。）

**[Spot Monitor(スポットモニター出力)]**

：On（ビデオロスを感知すると AUX 端子からカメラ映像がシーケンシャル表示されます）

：Off(ビデオロスを感知しても AUX 端子からの映像出力は変化しません。)

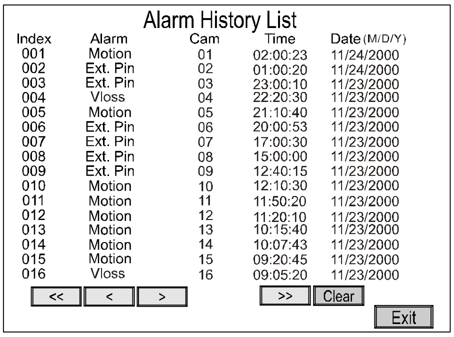
**[Hold Time(アラーム保持時間)]**

：設定された項目の動作保持時間を設定します。1～99 秒の間で設定します。

**Exit**

：入力したデータを保存して、ビデオロス連動設定を終了します。(アラーム設定に戻ります)

## 5. Alarm History List(アラーム履歴)



Alarm History List

| Index | Alarm | Cam | Time | Date (M/D/Y) |
|---|---|---|---|---|
| 001 | Motion | 01 | 02:00:23 | 11/24/2000 |
| 002 | Ext. Pin | 02 | 01:00:20 | 11/24/2000 |
| 003 | Ext. Pin | 03 | 23:00:10 | 11/23/2000 |
| 004 | Vloss | 04 | 22:20:30 | 11/23/2000 |
| 005 | Motion | 05 | 21:10:40 | 11/23/2000 |
| 006 | Ext. Pin | 06 | 20:00:53 | 11/23/2000 |
| 007 | Ext. Pin | 07 | 17:00:30 | 11/23/2000 |
| 008 | Ext. Pin | 08 | 15:00:00 | 11/23/2000 |
| 009 | Ext. Pin | 09 | 12:40:15 | 11/23/2000 |
| 010 | Motion | 10 | 12:10:30 | 11/23/2000 |
| 011 | Motion | 11 | 11:50:20 | 11/23/2000 |
| 012 | Motion | 12 | 11:20:10 | 11/23/2000 |
| 013 | Motion | 13 | 10:15:40 | 11/23/2000 |
| 014 | Motion | 14 | 10:07:43 | 11/23/2000 |
| 015 | Motion | 15 | 09:20:45 | 11/23/2000 |
| 016 | Vloss | 16 | 09:05:20 | 11/23/2000 |



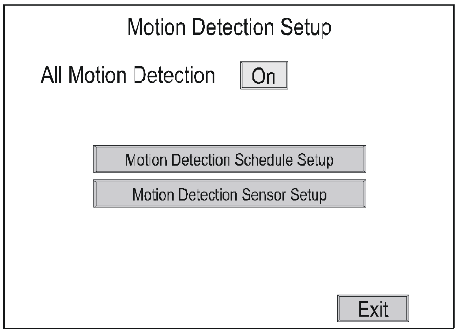
この画面では、アラームの履歴リストを表示させます。
本機(マルチプレクサー)では、最大 256 件のアラーム履歴を記録できます。

- ≪　：最初のページに移動します。
- ＜　：1 つ前のページに移動します。
- ＞　：1 つ後のページ移動します。
- ≫　：最後のページ(最大記載 16 ページ)に移動します。

**[Clear(削除)]**：すべてのアラーム履歴リストを削除します。
このボタンを押すと、確認メッセージが表示されます。削除するときは[OK]を選択します。
削除しないときは[CANCEL]を選択します。

**Exit**　：入力したデータを保存して、アラーム履歴を終了します。（アラーム設定に戻ります）

# 6. Motion Detection Setup(モーションディテクター設定)




モーションディテクターの設定を行います。

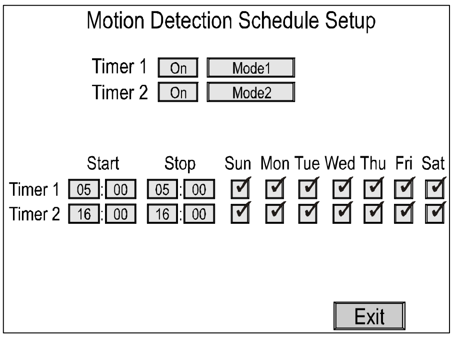
**■[All Motion Detection(モーションディテクターの全体設定)]**

：On（カメラごとに設定したモーションディテクターの内容を有効にします。）

：Off（カメラごとに設定したモーションディテクターの内容を無効にします。）

Exit ：入力したデータを保存して、モーションディテクター設定を終了します。（メインメニューに戻ります）

## ■[Motion Detection Schedule Setup(モーション・スケジュール設定)]




モーションディテクター機能をスケジュール設定することができます。

**[Timer 1&2(タイマー1, 2)]**

：タイマー1, 2にそれぞれ次に設定する[Mode 1]、[Mode 2]を設定できます。
モーションディテクター・センサー設定での運用に使用します。

**[Start(開始時間)]**

：タイマー1、2それぞれのモーションディテクター機能の開始時間を設定します。

**[Stop(終了時間)]**

：タイマー1、2それぞれのモーションディテクターター機能の終了時間を設定します。

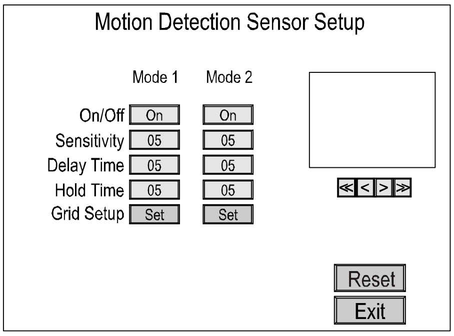
**[Sun—Sat(日時設定)]**

：タイマー1, 2それぞれの曜日ごとに機能の有効・無効を設定します。

Exit

：入力したデータを保存して、モーションディテクター・スケジュール設定を終了します。
（モーションディテクター設定に戻ります）

## ■[Motion Detection Sensor Setup(モーションディテクター・センサー設定)]




カメラごとのモーションディテクターの詳細設定を行います。
前のページ（モーションディテクター・スケジュール設定）で設定した、[Mode 1]、[Mode 2]それぞれに設定できます。

**[On / Off]**

：モーションディテクター機能の有効・無効を設定します。

**[Sensitivity(センサー感度)]**

：グリッドのセンサー感度を設定します。1(低感度)～16(高感度)で設定します。

**[Delay Time(遅延時間)]**

：モーションディテクターが感知してから、発報するまでの遅延時間を設定します。1～5 秒の間で設定します。

***参考***

***＊頻繁に画面内の明るさ変化が起こる環境などに利用します。***

**[Hold Time(モーションディテクター保持時間)]**

：アラーム感知としての保持時間を設定します。
1～99 秒の間で設定します。

**[Grid Setup(グリッド設定)]**

：モーションディテクター・グリッド設定画面に移動します。

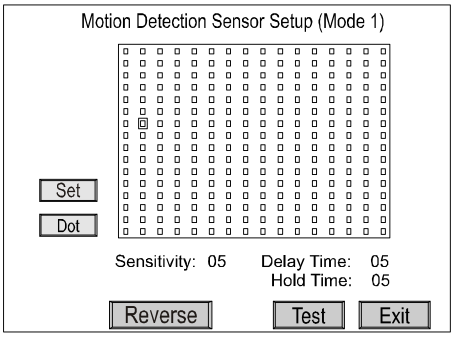
≪：最初のカメラ(カメラ 1)に移動します。
＜：1 つ前のカメラに移動します。
＞：1 つ後のカメラに移動します。
≫：最後のカメラ(16ch の場合、カメラ 16)に移動します。

**[Reset(リセット)]**

：入力したモーションディテクター・センサー設定の設定内容を、初期設定に戻します。

**Exit**　：入力したデータを保存して、モーションディテクター・センサー設定を終了します。（モーションディテクター設定に戻ります）

## ■[Motion Detection Sensor Setup(モーション・グリッド設定)]




ここでは、モーションディテクターのグリッド設定(警戒領域の設定)とセンサー感度等のテストを行います。

**[Set(セット)]**

：グリッドの設定をカーソルを移動しながら行います。

**[Dot / Line / All(ドット・列・すべて)]**

：上記セットを行う場合、グリッドごと、列ごと、すべてを選んで設定します。

**[Reverse(設定反転)]**

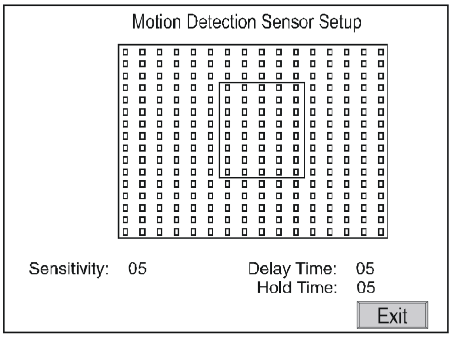
：設定したグリッドの有効・無効を反転させます。

**[Test(テスト)]**

：モーションディテクター・テスト画面に移動します。

**Exit** ：入力したデータを保存して、モーションディテクター・グリッド設定を終了します。（モーションディテクター・センサー設定に戻ります）

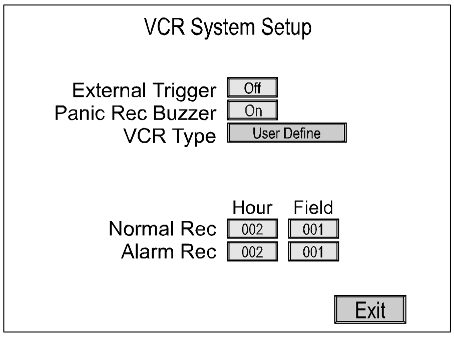
## ■[Motion Detection Sensor Setup(モーションディテクター・テスト画面)]




前ページまでで設定したモーションディテクターの動作テストを行います。
画面下段には、設定した内容(数値)が表示されます。

**Exit** ：前のページ（モーションディテクター・グリッド設定）に戻ります。

# 7. VCR System Setup(録画設定)




録画装置とのマッチングを図るための設定を行います。

***参考***

***＊録画装置とのトリガー接続を行う場合は、この項目の設定を大幅に省略化できます。トリガー接続を行うことをお勧めします。***

**[External Trigger(トリガー接続)]**

:Off(トリガー接続をしない場合は、Off を設定してください。)

:＋（トリガー接続を行い、プラストリガーの場合、+を設定してください。）

:－（トリガー接続を行い、マイナストリガーの場合、－を設定してください。）

**[Panic Rec Buzzer(パニック録画ブザー)]**

:On(パニック録画の際、ブザーが 20 秒間なります。)

:Off（パニック録画の際、ブザーはなりません。）

**[VCR Type(VCR タイプ)]**

:リスト内にご使用のタイムラプスビデオの品番がある場合には、それを選択します。ない場合には、[User Define]を設定します。

**＊トリガー接続を行う場合は、設定する必要はありません。**

| | | | |
|---|---|---|---|
| AVR30 | SRT7168 | RT24A | KV9096A |
| AVR30A | AGRT600A | LTC392461 | SVT168E |
| AVR960 | AGTL500 | LTC396361 | SVT40E |
| AVR960SR | AG6540 | KV7024A | SVT168 |
| TLS9072 | AGRT650 | KV7168A | TLC2100 |
| SRT7072 | AG6740 | KV9168A | TLC2100HD |

**[Normal Rec/Alarm Rec(通常録画・アラーム録画)]**

:外部トリガーを接続しない場合、録画装置での通常録画とアラーム録画の録画スピードとその録画スピードでのフィールド数を入力します。

[Hour(時間)]:録画装置で設定されている「録画時間モード」の時間を入力します。(001(hr)～960(hr))

[Field(フィールド)]:上記「録画時間モード」に対応したフィールド数を入力します。(001～480)

***参考***

***＊詳細については、録画装置の取扱説明書をご覧ください。***

***ご注意***

***＊システム内でマルチプレクサーを通して録画をする場合、上記項目の設定は必ず必要です。設定を行わない、もしくは間違った設定を行うと、正しい録画がされません。ご注意ください。***

参考

# 1CH デジタルレコーダー-(SDRH-0801)との組合せ設定の場合

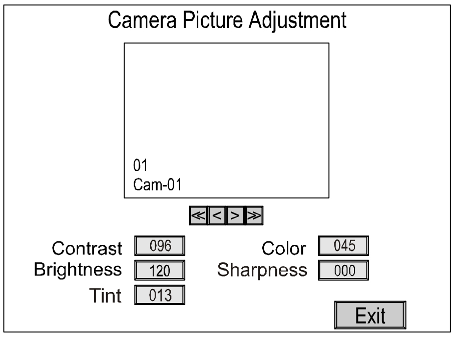
[VCR System Setup]での設定

**①[External Trigger]を使用する場合**
[External Trigger]を「－(マイナス)」に設定します。
その他の設定は使用しません。
*1CH デジタルレコーダー-(SDRH-0801)での録画設定で、[60ips]は使用しないでください。
(同期がずれる場合があります)

**②[External Trigger]を使用しない場合**
[VCR Type]を[User Define]に設定します。
[Normal Rec(Alarm Rec)]を 1CH デジタルレコーダー-の録画設定との組合せで下記表を参考に設定してください。

| マルチプレクサー[VCR System Setup] | | 1CH デジタルレコーダー-[SDRH-0801](録画速度) | |
|---|---|---|---|
| HOUR | FIELD | | |
| 2 | 1 | 60ips | (2 時間モード) |
| 4 | 2 | 30ips | (4 時間モード) |
| 6 | 3 | 20ips | (6 時間モード) |
| 8 | 4 | 15ips | (8 時間モード) |
| 12 | 6 | 10ips | (12 時間モード) |
| 24 | 12 | 5ips | (24 時間モード) |
| 48 | 24 | 2.5ips | (48 時間モード) |
| 72 | 36 | 1.67ips | (72 時間モード) |
| 96 | 48 | 1.25ips | (96 時間モード) |
| 120 | 60 | 1ips | (120 時間モード) |
| 168 | 84 | 0.714ips | (168 時間モード) |
| 240 | 120 | 0.5ips | (240 時間モード) |
| 480 | 240 | 0.25ips | (480 時間モード) |
| 720 | 360 | 0.167ips | (720 時間モード) |

## 8. Camera Picture Adjustment(カメラ映像調整)



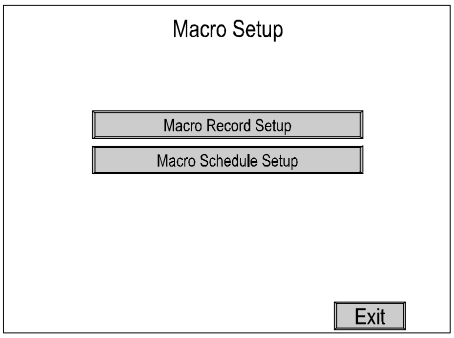

この設定は、接続するカメラ・モニターの調整がすべて終了してから行ってください。

≪　　　：最初のカメラ(カメラ 1)に移動します。
＜　　　：1 つ前のカメラに移動します。
＞　　　：1 つ後のカメラに移動します。
≫　　　：最後のカメラ(16ch の場合、カメラ 16)に移動します。

**[Contrast(コントラスト)]** ：コントラストの調整を行います。調整範囲：-100～+153
**[Color(カラー)]** ：色合いの調整を行います。調整範囲：-127～+126
**[Brightness(明るさ)]** ：明るさの調整を行います。調整範囲：-127～+126
**[TINT(ティント)]** ：ティントの調整を行います。　調整範囲：-103～+114
**[Sharpness(シャープネス)]** ：シャープネスの調整を行います。調整範囲：5

**Exit** ：入力したデータを保存して、カメラ映像調整を終了します。(メインメニューに戻ります)

## 9. Macro Setup(マクロ設定)



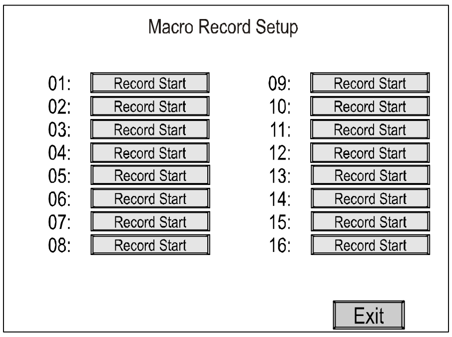

マクロの設定を行います。

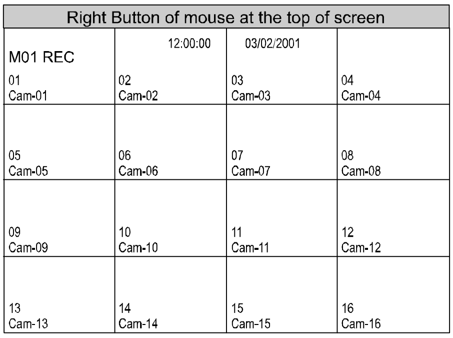
**[Macro Recording Setup(マクロ録画設定)]**
：マクロ録画設定に移動します。

**[Macro Schedule Setup(マクロスケジュール設定)]**
：マクロスケジュール設定に移動します。

**Exit**
：入力したデータを保存して、マクロ設定を終了します。(メインメニューに戻ります)

## [Macro Record Setup(マクロ録画設定)]



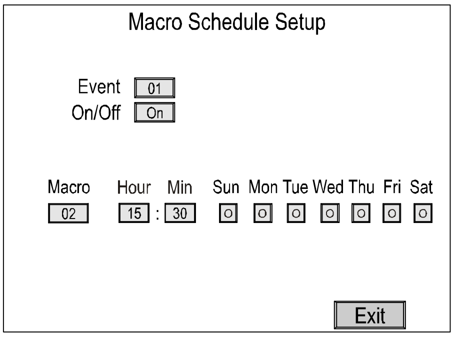




それぞれのマクロ録画スタートボタン(Record Start)を押すと、ライブ映像画面に変わり前面パネル操作によりマクロ録画されます。

**Exit**

：入力したデータを保存して、マクロ録画設定を終了します。(マクロ録画設定に戻ります)

## [Macro Schedule Setup(マクロスケジュール設定)]




マクロを使用するのに、最大 20 までのイベントスケジュールを設定することができます。

**[Event(イベント)]**

：スケジュール・イベント・ナンバーを 1～20 まで入力できます。

**On/ Off**

：設定したイベントの On / Off を設定します。

**[Macro(マクロ)]**

：イベント設定したマクロを選択します。

**[Hour/Min(時間)]**

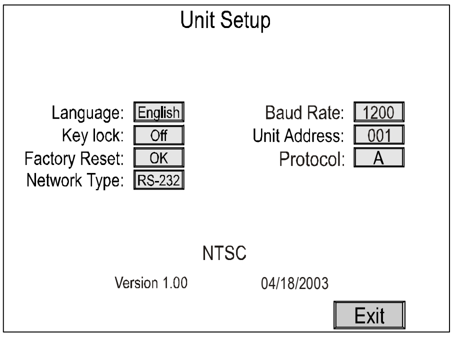
：イベントを実行する時間を入力します。

**[Day(日付)]**

：イベントを実行する曜日に√をつけます。

**Exit** ：入力したデータを保存して、マクロスケジュール設定を終了します。(マクロ設定に戻ります)

# 10. Unit Setup(ユニット設定)




マルチプレクサー本体の基本設定を行います。

**[Language(表示言語)]**

：English,French,Italian,German,Spanish から選択します。

**[Key Lock(キーロック)]**

：On の場合、操作ごとにパスワード入力を要求します。

**[Factory Reset(工場出荷時設定)]**

：工場出荷時の初期設定に戻します。

このボタンを押すと、確認メッセージが表示されます。初期化するときは[OK]を選択します。初期化しないときは[CANCEL]を選択します。

**[Network Type(ネットワーク)]**

：本機をネットワークに接続する場合、本体背面のインターフェースを RS-232，RS-422，RS-485 から選択します。

**[Baud Rate(データ転送)]**

：本機をネットワークに接続する場合、データ転送スピードを 1200，2400，4800，9600，19200 から選択します。

※　データ長 8bit、パリティ 無し、ストップビット 1bit

**[Unit Address(ユニットアドレス)]**

：本機をネットワークに接続する場合、001～255 の間で個体番号（ユニットアドレス）を設定します。

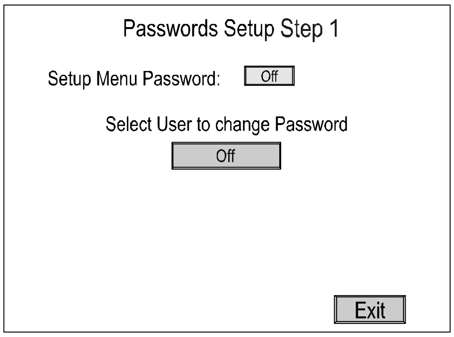
**[Protocol(プロトコル)]**

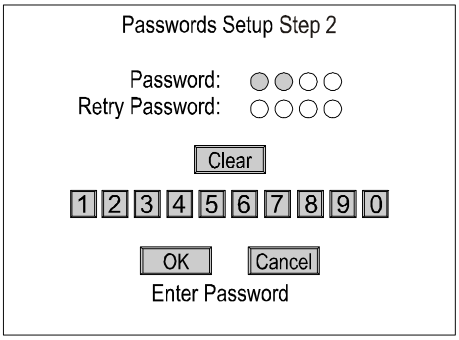
：A（マルチプレクサーのプロトコル）

：B（PTZ カメラのプロトコル）

**Exit**　：入力したデータを保存して、ユニット設定を終了します。（メインメニューに戻ります）

# 11. Password Setup(パスワード設定)




***ご注意***
***パスワードは安全な場所に保管してください。***
***一度初期設定のパスワードから変更された場合は、この画面より、登録されたパスワードを入力する必要があります。***

パスワードの初期設定は、「5555」です。

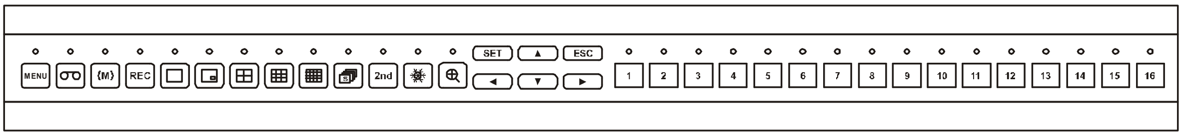
**[Setup Menu Password(パスワード設定)]**
：On にすると[トップメニュー]表示のたびに、パスワード入力が必要になります。
**Exit**　：入力したデータを保存して、ユニット設定を終了します。（メインメニューに戻ります）

画面上の番号を選択して、数字 4 文字のパスワードを入力し、[OK]にカーソルをあわせ[SET]ボタンを押します。
もし、入力されたパスワードが間違っていれば[Incorrect Password]の文字が 10 秒間表示され、ライブ映像画面に戻ります。

**[Clear(クリア)]**
：入力した数字をクリアします。
**[OK]**　：再入力パスワード(Retry Password)とも正しければ、セットアップメニューに戻ります。
**[Cancel(キャンセル)]**
：パスワード入力をキャンセルし、セットアップメニューに戻ります。

# 操作説明

## FRONT PANEL BUTTONS(ボタンと機能説明)




**MENU メニューボタン**

：メニューボタンを押すと「メインメニュー」が表示されます。

**VCR ボタン**

：VCR ボタンを押すと、ライブ映像から録画機（本体背面の VCR IN OUT に接続された機器）の再生映像に切り替わります。

：**2nd** ボタンを押してから VCR ボタンを押すと VCR プレビューモードに切り替わります。

**{M} マクロボタン**

：マクロボタンを押してから、カメラ番号ボタンを押すとそのカメラのマクロ操作が行われます。（マクロ設定による）

**REC パニック録画ボタン**

：パニック録画ボタンを押してから、カメラ番号ボタンを押すとそのカメラのパニック録画を開始します。

**1 画面表示ボタン**

：1 画面表示ボタンを押すと、最後に選択されたカメラの映像がフル画面で表示されます。

：**2nd** ボタンを押してから ボタンを押すと 7 分割(3＋4)画面表示になります。

**ピクチャー・イン・ピクチャーボタン**

：親画面・子画面表示できます。 を押してから、カメラ番号ボタンを押し、表示させたいカメラ映像を設定することができます。

：**2nd** ボタンを押してから ボタンを押すと PIP4 画面表示になります。

**4 分割ボタン**

：4 分割表示させます。（ ボタンを押すごとに 1～4、5～8、9～12、13～16 の 4 分割表示に切り替わります。）

：**2nd** ボタンを押してから ボタンを押すと 8 分割(1＋7)画面表示になります。

**9 分割ボタン**

：9 分割表示させます。（ ボタンを押すごとに 1～9、10～16+2 の 9 分割表示に切り替わります。）

：**2nd** ボタンを押してから ボタンを押すと 10 分割(2＋8)画面表示になります。

**16 分割ボタン**

：16 分割表示させます。

：**2nd** ボタンを押してから ボタンを押すと 13 分割(1＋12)画面表示になります。

**シーケンシャルボタン**

： ボタンを押してからカメラ番号ボタンを押すと、フル画面でのシーケンシャル表示になります。

： ボタンを押してから ボタン、 ボタン、 ボタンを押すと、分割画面でのシーケンシャル表示になります。

：**ESC** ボタンを押してから ボタンを押すと、シーケンシャル表示されている画面を固定します。

**❄フリーズボタン**

：❄ボタンを押すと表示されている画面をフリーズ（固定）されます。もう一度押すと、解除になります。

：ESCボタンを押してから、❄ボタンを押すとすべてのカメラの映像がフリーズされます。

**ズームボタン**

：ボタンを押すとズーム表示画面に移動します。

**SET セットボタン**

：SETボタンは、以下の場合、使用します。

- ポップアップメニューを表示させる場合。
- OSD メニューで「決定」する場合。
- セットアップ設定で「決定」する場合。
- メニュー設定内で、数値を下げる（初期設定の数値よりも小さい数値を設定する）場合。

**ESC 解除ボタン**

：ESCボタンは以下の場合、使用します。

- 設定で「解除」「クリア」する場合。
- メニュー設定内で、数値を上げる（初期設定の数値よりも大きい数値を設定する）場合。

**◄▲▼► 選択カーソル**

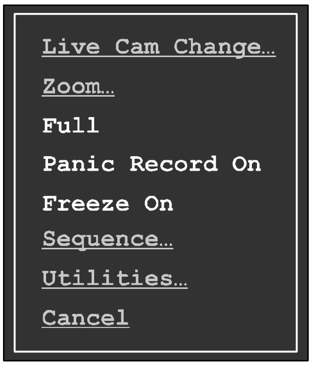
：上下左右のカーソル移動に使用します。

- ▲を 2 回押すと、「トップメニュー」バーが画面上部に表示されます。
- ▼を 2 回押すと、「ボトムメニュー」バーが画面下部に表示されます。

**1～16　カメラ番号ボタン**

：カメラ選択に使用します。

# POP-UP MENU(ポップアップメニュー)




◄▲▼►(選択カーソル)を押して、任意のカメラ表示を選択し、SET ボタンを押すと、(上記)ポップアップメニューが開きます。
以下項目が表示されます。

**[Live Camera Change(ライブカメラ映像変更)]**
：分割画面中のカメラ映像を任意の位置に設定します。

**[Zoom(ズーム)]**
：「ズーム表示画面」に移動します。

**[Full(フル画面表示)]**
：選択した画面をフル画面表示させます。

**[Panic Record(パニック録画設定)]**
：パニック録画設定を ON / OFF 設定します。

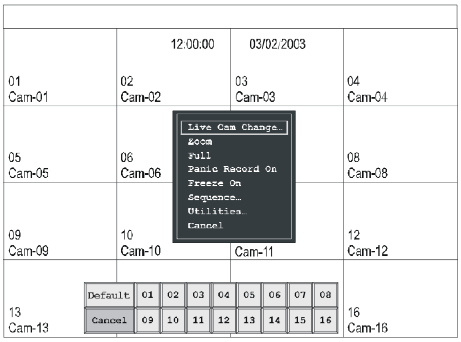
**[Freeze(フリーズ)]**
：フリーズ設定を ON / OFF 設定します。

**[Sequence(シーケンシャル表示)]**
：シーケンシャル表示を設定します。

**[Utilities(ユーティリティ)]**
：ユーティリティ設定をします。

**[Cancel(キャンセル)]**
：ポップアップメニューを終了します。

## 1. LIVE CAMERA CHANGE(ライブカメラ切替)



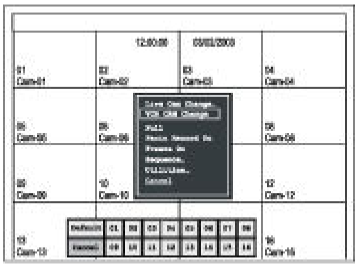

ライブカメラ映像変更を実行すると、画面下部に選択バーが現れます。

**1～16**（16ch の場合）：任意のカメラ番号を選択して、その位置に選択したカメラ映像をはめ込みます。

**[Default(初期設定)]**：初期設定に戻します。

**[Cancel(キャンセル)]**　：設定をキャンセルします

## 2. VCR CAMERA CHANGE(再生カメラ映像切替え)

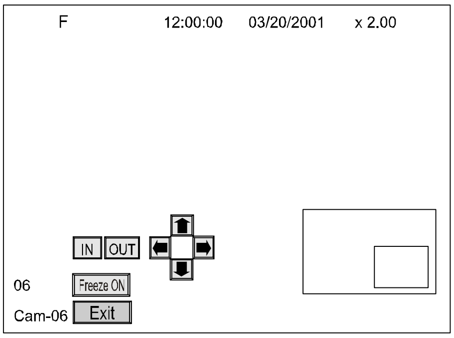


＊この設定は記録映像再生中にのみ表示されます。

再生カメラ映像変更を実行すると、画面下部に選択バーが現れます。

**1～16**（16ch の場合）　：任意のカメラ番号を選択して、その位置に選択したカメラ映像をはめ込みます。
**[Default(初期設定)]**　：初期設定に戻します。
**[Cancel(キャンセル)]**　：設定をキャンセルします

## 3. ZOOM(ズーム)




デジタルズームモードに入ります。画面右上にある数字はズームの倍率を示します。最高 32 倍までズーム可能です。また画面右下に出てくる映像内の枠はズームするエリアを指します。このエリアは方向ボタンで移動することができます。

**[Freeze ON(フリーズ)]**　：表示中の画面をフリーズします。
**[IN(ズームイン)]**　：ズームイン（拡大）します。
**[OUT(ズームアウト)]**　：ズームアウト（縮小）します。
**[ARROW BUTTONS(方向ボタン)]**：ズームするエリアを上下左右に移動します。
**Exit**　：ズーム表示画面を終了します。

## 4. FULL(フル画面表示)

：クリックした分割画面内の映像をフル画面表示します。

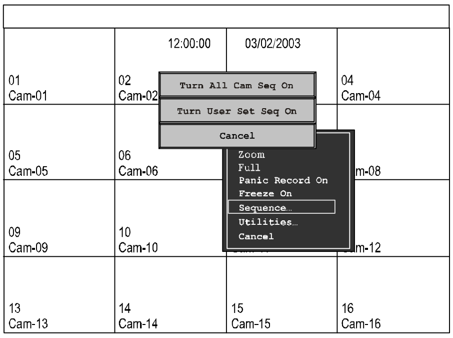
## 5. PANIC RECORD(パニック録画)

：選択された映像だけがリアルタイム録画されます。

## 6. FREEZE(フリーズ機能)

：選択された再生映像がフリーズします。解除するにはもう一度ポップアップメニューから Freeze OFF を設定します。

## 7. SEQUENCE(シーケンシャル)




選択した分割画面上をシーケンス表示します。

**[Turn All Camera Seq On(全カメラシーケンシャル設定)]**

：スクリーンに表示されていないカメラ映像だけをシーケンス表示します。

**[Turn User Set Seq On(選択カメラシーケンシャル設定)]**

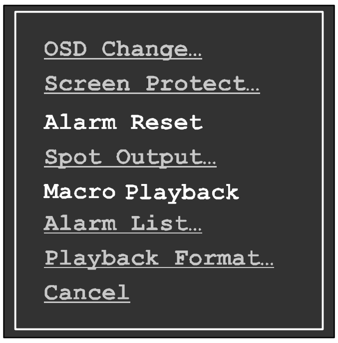
：設定メニューで設定した状態でシーケンス表示します。

**[Cancel(キャンセル)]**

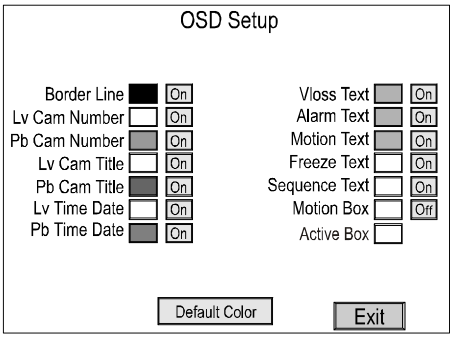
：シーケンシャル表示設定を終了します。

## 8. UTILIRIES(オプション)

ポップアップメニューでのオプション設定を行います。




◆[OSD Change…(オンスクリーンディスプレイ設定)




スクリーン上の文字・数字・ボーダーラインなどの色及び表示の有無などを設定します。

**[Border Line(ボーダーライン)]**

：各映像の枠の表示色を設定します。

**[Lv Cam Number(ライブカメラ番号)]**

：ライブ映像のカメラ番号の表示色を設定します。

**[Pb Cam Number(再生カメラ番号)]**

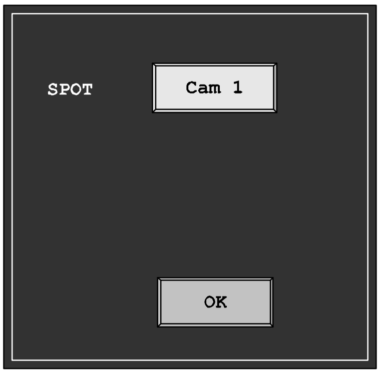
：再生映像のカメラ番号の表示色を設定します。

**[Lv Cam Title(ライブカメラタイトル]**
　　：ライブ映像のカメラタイトルの表示色を設定します。
**[Pb Cam Number(再生カメラタイトル)]**
　　：再生映像のカメラタイトルの表示色を設定します。
**[Lv Time Date(ライブ日付表示)]**
　　：ライブ映像上の時間と日付の表示色を設定します。
**[Pb Time Date(再生日付表示)]**
　　：再生映像上の時間と日付の表示色を設定します。
**[Vloss Text(ビデオロス表示)]**
　　：ビデオロスの場合に表示される'V'の色を設定します。
**[Alarm Text(アラーム表示)]**
　　：アラームが検知された時に表示される'A'の表示色を設定します。
**[Motion Text(モーション表示)]**
　　：モーションが検知された時に表示される'M'の表示色を設定します。
**[Freeze Text(フリーズ表示)]**
　　：フリーズモード中に表示される'F'の表示色を設定します。
**[Sequence Text(シーケンシャル表示)]**
　　：シーケンシャルモード中に表示される'S'の表示色を設定します。
**[Motion Box(モーション枠表示)]**
　　：モーションが検知されたカメラ映像の枠の色を設定します。
**[Active Box(カメラ選択枠)]**
　　：選択したカメラ映像の枠の色を設定します。
**[Default Color(初期化)]**
　　：全ての OSD 設定が初期設定します。
**Exit**　：入力した設定を保存して、OSD 設定モードを終了します。

◆[Screen Protect…(画面非表示設定)]
　　：画面を非表示します（カラーバー表示にします)。

◆[Alarm Reset…(アラームリセット)]
　　：アラームをリセットすることが出来ます。

◆[Spot Output…(スポット出力)]




　　：スポット出力 (AUX 端子)から出力されるカメラ映像を設定します。

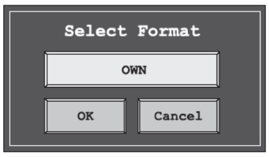
◆[Macro Playback…(マクロ)]
　　：マクロ設定を有効にさせます。

◆[Alarm List…(アラーム履歴リスト]

この画面では、アラームの履歴リストを表示させます。
本機(マルチプレクサー)では、最大256件のアラーム履歴を記録できます。

≪　：最初のページに移動します。
＜　：1つ前のページに移動します。
＞　：1つ後のページ移動します。
≫　：最後のページ(最大記載16ページ)に移動します。アラームリストを表示します。
Exit　：アラーム履歴リストを終了します。

◆[Playback Format…(再生フォーマット)]




下記掲載のメーカーのマルチプレクサーを介して録画された映像も再生することが出来ます。
通常にご使用の際はOWNをお選びください。
MICROS、ROBOT、PELCO、PELCO、KALATEL

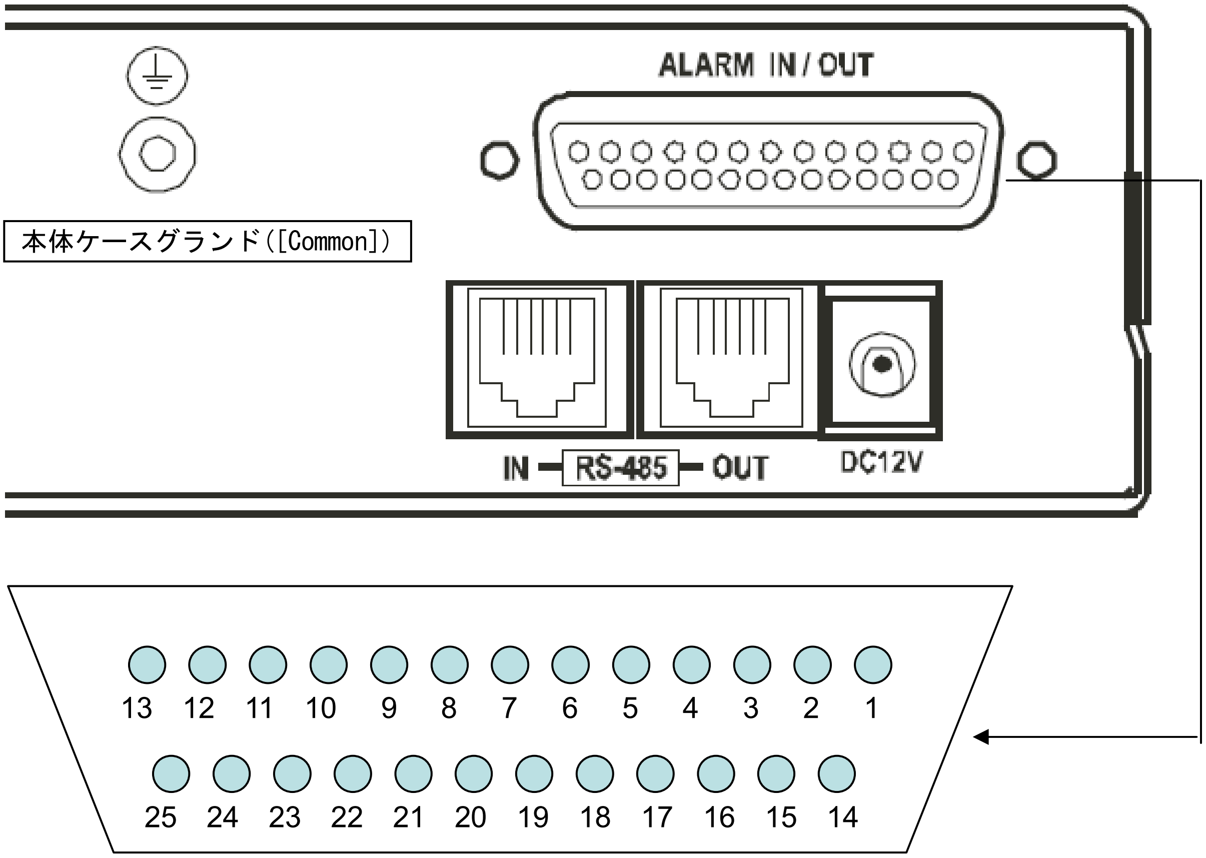
# 付録 A – 故障かな、と思ったら

| 問題 | 確認 |
|---|---|
| 映像が映らない（黒い画面）。 | 電源が接続されているか確認してください。 |
| 映像が映らない<br>（1 つのカメラ映像のみ）。 | カメラの状態を確認してください。<br>接続ケーブル（コネクター）を確認してください。 |
| 映像が乱れる | PAL 方式になっていないか確認してください。 |
| 映像がぼやける（1 つのカメラ映像のみ） | カメラのピント調整を確認してください。 |
| 映像が悪い（1 つのカメラ映像のみ） | ループスルー出力を確認してください。接続されている危機の状態を確認してください。 |
| 意味不明のアルファベットが表示される。 | 言語表示設定を確認してください。 |
| ボタン操作ができない。 | セットアップメニューでキーロックを解除してください。 |
| 再生映像がおかしい。 | 録画設定を確認してください。（録画装置とのトリガー接続することをお勧めします） |
| アラームが頻繁に発報する。 | モーションディテクター設定を確認してください。警戒領域や、発報領域を確認してください。<br>モーションディテクター・テスト画面で確認してください。 |
| モーションディテクター機能が動作しない。 | モーションディテクターター設定を確認してください。警戒領域や、発報領域を確認してください。<br>モーションディテクター・テスト画面で確認してください。 |

# 付録B－ リモートコントロールとコネクター接続

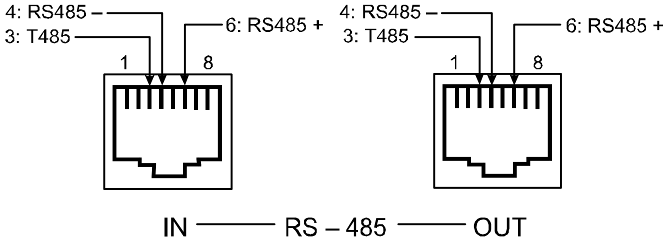
マルチプレクサー本体背面のPIN配列は以下のとおりです。
アラーム・イン/アウト、VCRトリガー、RS-232、RS-485ご使用の際は以下を参照願います。
*アラーム・イン、VCRトリガーの[Common]は、本体への接続となります。合わせて、以下参照願います。

| PIN Number | Connector PIN Assignment |
|---|---|
| 1 | Alarm Input 1 |
| 2 | Alarm Input 2 |
| 3 | Alarm Input 3 |
| 4 | Alarm Input 4 |
| 5 | Alarm Input 5 |
| 6 | Alarm Input 6 |
| 7 | Alarm Input 7 |
| 8 | Alarm Input 8 |
| 9 | RS-232 RX Input |
| 10 | RS-232 TX Input |
| 11 | RS-232 RX Output |
| 12 | RS-232 TX Output |
| 13 | VCR Trigger Input |
| 14 | Alarm Input 9 |
| 15 | Alarm Input 10 |
| 16 | Alarm Input 11 |
| 17 | Alarm Input 12 |
| 18 | Alarm Input 13 |
| 19 | Alarm Input 14 |
| 20 | Alarm Input 15 |
| 21 | Alarm Input 16 |
| 22 | Alarm Hold Input |
| 23 | Alarm Output Common |
| 24 | Alarm Output NC |
| 25 | Alarm Output NO |




Dsub 25PIN ピン配列図

RA-485　接続




※　通信終端が必要な機器では、3: T485 と 4: RS485－をショートします。

**デイジーチェイン接続によるリモートコントロール**

2 台以上のマルチプレクサーをデイジーチェイン接続にて、パーソナルコンピュータから操作する場合下記表を参照してください。

| HEX | RESULTS | HEX | RESULTS |
|---|---|---|---|
| 00 | NUL (changes active multiplexer) | 09 | 9 (9th connected multiplexer) |
| 01 | 1 (1st connected multiplexer) | 0A | 10 (10th connected multiplexer) |
| 02 | 2 (2nd connected multiplexer) | 0B | 11 (11th connected multiplexer) |
| 03 | 3 (3rd connected multiplexer) | 0C | 12 (12th connected multiplexer) |
| 04 | 4 (4th connected multiplexer) | 0D | 13 (13th connected multiplexer) |
| 05 | 5 (5th connected multiplexer) | 0E | 14 (14th connected multiplexer) |
| 06 | 6 (6th connected multiplexer) | 0F | 15 (15th connected multiplexer) |
| 07 | 7 (7th connected multiplexer) | 10 | 16 (16th connected multiplexer) |
| 08 | 8 (8th connected multiplexer) | | |

コマンド表

| ASCII | MULTIPLEXER KEY | ASCII | MULTIPLEXER KEY |
|---|---|---|---|
| /MU | MENU | /01 | Camera 1 |
| /TP | VCR | /02 | Camera 2 |
| /MA | MACRO | /03 | Camera 3 |
| /SX | RECORD | /04 | Camera 4 |
| /FZ | FULL | /05 | Camera 5 |
| /PP | PIP | /06 | Camera 6 |
| /22 | 2 x 2 | /07 | Camera 7 |
| /33 | 3 x 3 | /08 | Camera 8 |
| /44 | 4 x 4 | /09 | Camera 9 |
| /SQ | SEQUENCE | /10 | Camera 10 |
| /2N | 2ND | /11 | Camera 11 |
| /FR | FREEZE | /12 | Camera 12 |
| /ZO | ZOOM | /13 | Camera 13 |
| /ST | SET | /14 | Camera 14 |
| /ES | ESC | /15 | Camera 15 |
| /UP | UP | /16 | Camera 16 |
| /DO | DOWN | | |
| /LE | LEFT | | |
| /RI | RIGHT | | |

コマンド表

| ASCII | RESULTS | ASCII | RESULTS |
|---|---|---|---|
| /S1 | Panic record (camera 1) | /X1 | Select camera 1 for display |
| /S2 | Panic record (camera 2) | /X2 | Select camera 2 for display |
| /S3 | Panic record (camera 3) | /X3 | Select camera 3 for display |
| /S4 | Panic record (camera 4) | /X4 | Select camera 4 for display |
| /S5 | Panic record (camera 5) | /X5 | Select camera 5 for display |
| /S6 | Panic record (camera 6) | /X6 | Select camera 6 for display |
| /S7 | Panic record (camera 7) | /X7 | Select camera 7 for display |
| /S8 | Panic record (camera 8) | /X8 | Select camera 8 for display |
| /S9 | Panic record (camera 9) | /X9 | Select camera 9 for display |
| /SA | Panic record (camera 10) | /XA | Select camera 10 for display |
| /SB | Panic record (camera 11) | /XB | Select camera 11 for display |
| /SC | Panic record (camera 12) | /XC | Select camera 12 for display |
| /SD | Panic record (camera 13) | /XD | Select camera 13 for display |
| /SE | Panic record (camera 14) | /XE | Select camera 14 for display |
| /SF | Panic record (camera 15) | /XF | Select camera 15 for display |
| /SG | Panic record (camera 16) | /XG | Select camera 16 for display |
| /AV | Stop panic record | /_U | Up (press & hold arrow button) |
| /AF | Setup Menu | /_D | Down (press & hold arrow button) |
| /AU | Factory Reset | /_L | Left (press & hold arrow button) |
| /AD | Alarm History List | /_R | Right (press & hold arrow button) |
| /AL | Alarm History List | /_AR | Time / Date OSD ON / OFF |

# 付録 C- 初期設定

| Setting | Default Configuration |
|---|---|
| Date Format(日付スタイル) | US (MM/DD/YY) |
| Time Format(時間スタイル) | 24-hour |
| Daylight Savings(サマータイム設定) | OFF |
| Stack Dwell Time(カメラ保持時間) | 3 seconds |
| Sequence Dwell Time(シーケンシャル保持時間) | 3 seconds |
| Alarm Reset Button(アラームリセットボタン) | ON |
| Alarm Screen Format(アラーム画面設定) | 4x4 |
| Alarm Dwell Time(アラーム保持時間) | 3 seconds |
| Alarm Input Polarity(アラーム入力) | NO (Normally Open) |
| Alarm Buzzer(アラームブザー) | ON |
| Alarm Screen(アラーム画面) | ON |
| Alarm Message Latch(メッセージマーク) | ON |
| Alarm Recording(アラーム録画) | INT (Interleaving) |
| Alarm Spot Monitor Output(スポットモニター出力) | ON |
| Alarm Hold Time(アラーム保持時間) | 20 seconds |
| Alarm Action(アラーム連動) | Timed Out |
| Alarm Relay(リレー) | ON |
| Motion Alarm Buzzer(モーションブザー) | OFF |
| Motion Alarm Screen(モーション画面) | OFF |
| Motion Alarm Message Latch(メッセージマーク) | ON |
| Motion Alarm Recording(モーション録画) | INT (Interleaving) |
| Motion Alarm Spot Monitor Output(スポットモニター出力) | OFF |
| Motion Alarm Relay(リレー) | OFF |
| Vloss Buzzer(ビデオロスブザー) | ON |
| Vloss Screen(ビデオロス画面) | OFF |
| Vloss Message Latch(メッセージマーク) | ON |
| Vloss Spot Monitor Output(スポットモニター出力) | ON |
| Vloss Hold Time(ビデオロス保持時間) | 20 seconds |
| All Motion Detection(モーション全設定) | ON |
| Motion Detection Timer(モーションタイマー) | OFF |
| Sensitivity(感度) | 10 |
| Delay Time(遅延時間) | 0 seconds |
| Motion Hold Time(モーション保持時間) | 5 seconds |
| Target Grids(グリッド設定) | All Grids ON |
| External Trigger(VCR トリガー) | OFF |
| Panic Record Buzzer(パニック録画) | ON |
| VCR Type(VCR タイプ) | Standard VHS |

| Setting | Default Configuration |
|---|---|
| VCR Normal Record Time (VCR通常録画時間) | 2 Hours (NTSC), 3 Hours (PAL) |
| VCR Alarm Record Time(VCRアラーム録画時間) | 2 Hours (NTSC), 3 Hours (PAL) |
| Camera Contrast(コントラスト) | 000 |
| Camera Brightness(明るさ) | 000 |
| Camera Color (カラー) | 000 |
| Camera Tint(ティント) | 000 |
| Camera Sharpness(シャープネス) | 000 |
| Language (表示言語) | English |
| Key Lock(キーロック) | OFF |
| Network Type(ネットワークタイプ) | RS-232 |
| Baud Rate(データ転送) | 1200 |
| Unit Address(ユニットアドレス) | 001 |
| Protocol(プロトコル) | A |
| Setup Menu Password(パスワード入力) | OFF |
| Password Code(初期パスワード) | 5555 |
| VCR Picture Adjustment(VCR映像調整) | 000 |
| Border Line(ボーダーライン) | ON (Black) |
| Live Camera Number(ライブカメラ番号) | ON (White) |
| PB Camera Number(再生カメラ番号) | ON (Blue) |
| Live Camera Title(ライブカメラタイトル) | ON (White) |
| PB Camera Title(再生カメラタイトル) | ON (Blue) |
| Live Time, Date(ライブ日付表示) | ON (White) |
| PB Time, Date(再生日付表示) | ON (Blue) |
| Vloss Text(ビデオロス表示) | ON (White) |
| Alarm Text(アラーム表示) | ON (White) |
| Motion Text(モーション表示) | ON (White) |
| Freeze Text(フリーズ表示) | ON (Red) |
| Sequence Text(シーケンシャル表示) | ON (White) |
| Motion Box(モーション表示) | OFF (Blue) |

# 付録 D- 仕様

| | | |
|---|---|---|
| 品番 | SXC-9LT | SXC-16LT |
| 品名 | マルチプレクサー9CH | マルチプレクサー 16CH |
| 定格電圧 | 12V | |
| 定格消費電流 | 2.5A | |
| 映像入出力 | | |
| テレビジョン方式 | NTSC | |
| 映像入力 | BNC×9(1.0V p-p,75Ω) | BNC×16(1.0V p-p,75Ω) |
| スルーアウト | BNC×9(1.0V p-p,75Ω) | BNC×16(1.0V p-p,75Ω) |
| モニター出力(メイン) | BNC×1(1.0V p-p,75Ω) | |
| スポットモニター出力(AUX) | BNC×1(1.0V p-p,75Ω) | |
| VCR 入力 | BNC×1(1.0V p-p,75Ω) | |
| VCR 出力 | BNC×1(1.0V p-p,75Ω) | |
| ビデオ解像度 | 720×480 | |
| 入／出力 | | |
| アラーム入力 | 9 入力 | 16 入力 |
| アラーム出力 | 1 出力 | |
| 画面表示 | | |
| 分割画面 | 4 分割、9 分割 | 4 分割、9 分割、16 分割 |
| シーケンシャル表示 | フル画面、4 分割、PIP | フル画面、4 分割、9 分割、PIP |
| 機能 | | |
| パスワード機能 | ON/OFF 設定可能 | |
| タイマープログラム | 2 モード(曜日ごとの ON/OFF 設定可能) | |
| カメラタイトル | 最大 24 文字まで入力可能(英数字、記号のみ) | |
| アラーム機能 | 外部アラーム、モーションディテクター、ビデオロス | |
| アラームブザー | ON/OFF 設定可能 | |
| アラーム履歴 | 最大 256 イベントまで履歴表示可能 | |
| コネクター | | |
| アラーム入出力 | ターミナルブロック | |
| RS-232 | ターミナルブロック(通信制御用) | |
| RS-485 | RJ45x2(通信制御用) | |
| 使用動作温度 | 0℃～+35℃ | |
| 使用動作湿度 | 20%RH～85%RH(結露なきこと) | |
| 本体寸法 | D310×W432×H44.5mm | |
| 重量 | 2.8kg | |

# 保証とアフターサービス

故障の際には電源プラグを抜くなどの安全措置を行ってください。また、本装置の故障または不具合により発生した付随的損傷(録画内容などの損傷)については、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

＜保証規定＞

■保障期間はお買い上げ日から１年です。(磨耗性部品は除く)
取扱説明書に従った正常な使用状態で、保障期間内に故障が発生した場合には、お買い上げの販売店にご連絡ください。また故障の際には、電源を抜くなどの安全措置を行ってください。

■保障期間中に故障して無償修理を受ける場合は、商品名/品番/購入日/販売店をご確認の上、お買い上げの販売店にご連絡ください。ご連絡の際は、いつごろから、どのような状態かなど機器の利用状況・症状を具体的にお知らせください。

■但し、保障期間内でも次の場合は有償修理となります。
1. ご使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障。
2. お買い上げ後の輸送、移動、落下などによる故障。
3. 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障。
4. 接続しているほか機器に起因する故障。
5. 異常磨耗、異常損傷を除き、自然磨耗とみなされた消耗品による故障。
6. 特殊業務、または特に過酷な条件下において使用された場合の故障。

■本保証書は日本国内に限り有効といたします。

<table>
<tr><th colspan="3">保証書</th></tr>
<tr><td>品名</td><td></td><td rowspan="3">本保証書は、この取扱説明書に記載の保証規定に基づき無償修理を行う事をお約束するものです。お買い上げ日から保障期間内に故障が発生した場合は、本書をご提示の上、お買い上げの販売店にご連絡ください。</td></tr>
<tr><td>品番</td><td></td></tr>
<tr><td>保証期間</td><td>お買い上げ日より１年間</td></tr>
<tr><td>お買い上げ日</td><td>年　　月　　日</td><td rowspan="2">販売店<br>住所<br>電話</td></tr>
<tr><td>お客様名</td><td></td></tr>
</table>